

「環境みらい下関」は、自分たちで相互に、語り合い、学び合い、考え合いながら、より多くの市民がゴミ減量・省エネを初めとする環境実践を進めるようになること、そのための場と機会を提供し続けること、そして、行政や企業とも協働しながら下関市における循環型社会の形成に貢献すること、を目標に、2003年6月から下関市初の公設民営のリサイクルプラザである「しものせき環境みらい館」の啓発棟の運営に携わってきて、来年で10周年の節目を迎えます。

廃棄物問題の解消を中心に据えながら、エコロジーへの取り組みの情報ネットワークの拠点となり、市民相互、市民と企業・行政間の連携・協働が一層強まって行くこともめざしてきました。

- これまで、取り組みの標語として、年度毎に
- 「3R活動を推進し循環型都市づくりをめざそう」
 - 「《MOTTAINAI》を広めよう、深めよう」
 - 「家と職場そしてあらゆる場所で《ゴミ減らし》を実現しよう」
 - 「《里づくり都市しものせき》を実現しよう」
 - 「《STOP地球温暖化》を表現しよう」などを、

そして本年は

- 「《EPR(拡大生産者責任)》と《C2C(ゆりかごからゆりかごへ)》を広めよう」

を掲げてきました。

10周年を節目に、心機一転さらに活動を活き活きと広げていけるよう、シンボルマーク等を一新します。

NPO法人 環境みらい下関

「NPO法人環境みらい下関」では来年度設立10周年を迎えるにあたり、シンボルマークを一新いたします。

海峡の街にあり、市民に親しまれながら環境問題の啓発と情報発信に取り組む私たちの新しいシンボルをお待ちしています。

募集

主な活動内容

「環境みらい下関」は、循環型社会の形成に向け、関係諸団体と交流・連携を図りながら、環境問題に関する情報の収集と発信だけでなく、自転車や家具などを修理再生するための工房の設置や各種リサイクル教室の開催とリサイクル品の販売、企業や団体によるさまざまな環境への取り組みの展示など、幅広い事業を行っています。また、下関市街地周辺の農山漁村部地域と交流しながら、市街地部にも自然が取り戻せるよう、緑の菜園を広げる「里づくり都市しものせき」の活動にも取り組んでいます。



左は現在のシンボルマークです。今回の募集でリニューアルしますので、これを特にベースにする必要はありません。

募集要項

応募方法	チラシの裏面もしくは白地のA4用紙に、①部門名 ②作品の説明(コンセプトなど) ③氏名(ふりがな) ④年齢(児童・学生の場合は学校名と学年) ⑤性別 ⑥住所 ⑦郵便番号 ⑧電話番号を記入して下記まで郵送にてご応募ください。 ※一人何点でもご応募いただけます。 〒751-0847 山口県下関市古屋町一丁目18-1 NPO法人環境みらい下関 シンボルマーク募集係宛
応募資格	特にありません。 ※グループ、企業団体での応募も可
賞及び賞状	最優秀賞各部門1名… 賞状・副賞3万円 優秀賞各部門3名… 賞状・副賞1万円 佳作各部門5名… 賞状・副賞5千円 ※部門によっては該当者なしとさせていただきます。 ※各賞入賞者が児童・生徒の場合の副賞は、金額相当の図書券となります。
募集締切り	平成24年1月31日(火)まで (郵送の場合は当日消印有効)
結果の発表	平成24年3月末日 に、当法人のホームページ上で発表するとともに、入賞者に直接通知します。
注意事項	・応募作品は未発表かつ自作の作品に限ります。 ・応募作品は返却いたしません。 ・応募作品については当法人のHPや印刷物等に使用させていただきます。 ・入賞作品の著作権は当法人に帰属します。 ・最優秀作品は、必要に応じて修正を加えた上で、使用されることがあります。 ・応募に要する一切の費用は応募者の負担となります。 ・応募者の個人情報が入賞の連絡のためにのみ使用します。

募集内容

今回は以下の3部門で募集します。

※それぞれを組み合わせた作品でも構いません。



キャラクターではなく、名刺や各種印刷物等への使用に配慮したシンプルなマークを想定しています。
※ロゴタイプ(法人名)の有無は問いません。
※色は三色以内、グラデーションは不可



現在のマークのような親しみやすいキャラクターを想定しています。
※ロゴタイプ(法人名)の有無は問いません。
※色数の制限はありませんがモノクロでの使用においてもイメージが損なわれないよう留意してください。
※特に“ふぐ”をモチーフにする必要はありません。



法人名(NPO法人環境みらい下関)の文字をデザインしてください。
※色は三色以内、グラデーションは不可
※英語表記の有無は自由です。

問い合わせ先/主催



環境みらい

発行所

NPO法人環境みらい下関
〒751-0847
下関市古屋町一丁目18番1号
電話 (083) 252-7220
FAX (083) 252-7222

11月

暮らしを考える



実りの秋を迎えて稲の収穫作業が進んでいます。今年の山口県の稲作は、作況指数が100を超えて豊作だそうです。米が余るからと作付けを制限されていても、豊作と聞けばまず食うに困ることはないという安心感があります。

今年の日本は、早春からかつて経験したことのない大災害に見舞われました。東日本の大震災、そして台風と豪雨。その地域では農作物も壊滅状態です。農作物や漁獲物など、人間や生き物の命を支える食料が、人智の及ばない自然の恵みによってもたらされるものであることを改めて思い知らされました。

国連人口基金 (UNFPA) によると今年10月末で世界人口は70億人に達するそうです。60億人に達してから13年での到達だということです。そして14年後の2025年には80億人になると予測されています。やがて世界的に食料が不足するのではないかと心配されています。今でさえ、世界では9億人強の人たちが飢餓に苦しんでいるとも指摘しています。世界から食料を買い集めて、豊かな食生活をしているわが国には胸の痛む問題であります。

ノーベル平和賞受賞者で「モットイナイ」という日本語を世界に広めた、ケニアの環境活動家ワンガリ・マータイさんが、9月26日、71歳で亡くなりました。マータイさんは、人権活動家として、女性の地位向上に努めるとともに、ケニアで進む無秩序な森林伐採に反対するなどの活動で知られ、来日の時に会った「モットイナイ」と言う言葉をキーワードにして、環境保護運動を広く展開されました。

私たちの、日常の暮らしや産業活動の中から排出される「ごみ」、一口にごみと言っても内容は千差万別であります。そのまま使える物、少し手を加えれば立派に再生出来る物がたくさんあります。これらはごみの概念とは違って見えます。まさにモットイナイと思うところからごみの概念をなくせるかもしれません。

ごみの埋設処理場で、埋設作業を見る機会があつて膨大な処理量を見ていると、こんな消費生活をいつまで続けられるのかと怖い感じさえします。

物質的な豊かさや経済成長が幸せをもたらす必要条件ではあつても、際限なく拡大するとも思えません。

不況からの脱却と景気浮揚を望むのは、消費と生産の拡大に通じるとしても新たな方向を模索しながら、大震災をきっかけに経済成長優先の価値観を見直す動きが芽生えることを期待するものです。

「モットイナイ」と「ごみ」のテーマは、このままでいいのかという問いかけとともに私たちの暮らしのあり方を深く考えさせられます。

NPO法人環境みらい下関 理事 木本 明

しものせき環境みらい館ご利用案内

- 開館時間 10:00～17:00まで
 - 休館日 月曜日 (祝日の場合は開館し翌日休館)
年末年始 (12月28日から1月4日)
- サンデンバス停「垢田」「稗田中央」より徒歩 約5分
電話 (083) 252-7220 FAX (083) 252-7222
<http://www.kankyo-mirai.jp>





11月のリサイクル教室のご案内



曜日	日時	講座名 講師名	講座内容
火	1日 10～15時	組みひも 津森 美智子	古布及び毛糸などを利用して、帯締めや各種ヒモ類を作ります。 持参する物：参加料 400円・弁当・裂き布・毛糸など 定員：4名
	8日・22日 10～12時	着付け 津森 美智子	着物の着方、名古屋帯の着方。 持参する物：参加料 400円・着物・帯・その他小物 定員：10名（2日間参加できる方限定）
	8日・22日 13～15時	和服のリサイクル 芳川 妙子	布のリフォーム・着物や帯で袋物やベストを作ります。 持参する物：参加料 400円・ゆかた・着物・帯・裁縫道具 定員：10名（2日間参加できる方限定）
	8日 10～12時	廃食油で石けん作り 福井 和恵	ご家庭の廃食油を材料にして石けんを作ります。 持参する物：参加料 150円・牛乳パック・エプロン ゴーグル・手袋・マスク・コーヒー等の空瓶 定員：20名
水	2日・16日 10～12時	布あそび 森田 芙路恵	古布で、今着たい服を作ります。 持参する物：参加料 400円・不用の布・裁縫道具 定員：15名(2日間参加できる方限定)
	16日 13～16時	古布でぞうり作り 佐藤 緑	持参する物：参加料 400円・30cmものさし・はさみ 洗濯バサミ 2個 綿で縦布(幅 10cm、長さ 60cm)40本 (幅 9cm、長さ 75cm)1本 (幅 2cm、長さ 35cm)4本 (幅 6cm、長さ 45cm)1本 定員：10名 11月18日と2日間できる方限定。
木	3日・17日 10～12時	古布で小物 永岡 ハツエ	古布で「季節の小物」を作ります。 持参する物：参加料 400円・裁縫道具・手芸用ボンド 定員：10名（2日間参加できる方限定）
	10日・24日 10～12時	パッチワーク 小笠原 典子	ミニタペストリー・バッグ・小物などを作ります。 持参する物：参加料 400円・裁縫道具・材料のハギレ 定員：10名
	10日・24日 13～15時	毛糸で小物 内田 チズ子	最初はあまり毛糸でタワシを作ります。 持参する物：参加料 400円・中細くらいの毛糸・カギ針 4～5号 定員：10名
	10日・24日 13～16時	表具 森 宏司	掛け軸や色紙掛けを作ります。 持参する物：参加料 400円(材料代別) 定員：5名(2日間参加できる方限定)
金	11日・25日 10～12時	裂き織り 小笠原 典子	木綿や絹の古着を裂いて、バッグ・インテリアグッズを作ります。 持参する物：参加料 600円・木綿や絹の古着・ハサミ 定員：8名
	18日 13～16時	古布でぞうり作り 佐藤 緑	16日の続きから編みます。 2日間参加できる方限定。
	25日 10～14時	エコッキング 家根内 清美	場所 山口合同ガス(株)体験ハウスひまわり館 本町三丁目1番1号 持参する物：参加料 600円・エプロン・三角巾・筆記用具 定員：20名 申込期限 11月18日(金)まで
土	5日・19日 10～12時	布のリフォーム 高田 和代	古い着物も蘇らせ、自分でリフォームした自分だけの一着。 持参する物：参加料 400円・裁縫道具・解いた服や着物 定員 10名：
日	13日・27日 10～12時	ガラス工芸 木下 照親	ガラスに砂を吹き付け、オリジナル作品を作ります。 持参する物：参加料：1日 400円・ガラス製のコップ・鉛筆 定員：10名
	6日・20日 10～12時	生ごみ堆肥&ベランダ菜園 和田 猛則	生ごみ堆肥作りとベランダ菜園実習。 持参する物：参加料無料 定員：10名

NPO法人環境みらい下関の教室・講座の申込み方法

毎月1日(1日が月曜日で閉館日の場合は2日)午前10時より電話のみにて受け付けます。

<申込みが少数の場合及び講師の都合等により、中止や延期になる場合がありますのでご了承ください>



お知らせ



寄贈品の受領についてのお願い

寄贈受領品目

食器・陶磁器、衣料品、書籍



現在、上記3品目をリユース品として寄贈いただき、それを望まれる方々に安価に提供し、限りある資源の節約に努めておりますが、最近リユースできない汚れもの等が多く見受けられるようになりました。

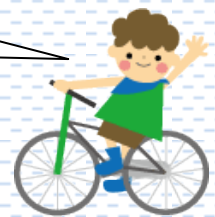
つきましては、大変恐縮ですがお持ち込みの品物を確認させていただき、リユースできない品物があった場合には、お受け取りできかねますので、予めご了承ください。

皆様の、ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

毎月**第3金曜日**は

滝部駅、利用してね~!

下関 ノーマイカーデー



【滝部駅の利用促進にご協力下さい】

CO₂を削減して、地球を救おう!

公共交通機関、自転車、徒歩、相乗りで通勤しましょう。

